

2017年2月21日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

変わらない「アスリートファースト」の精神 国際体操連盟(FIG)会長 渡辺守成氏 スペシャルインタビュー 公開

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する、笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区 理事長：小野清子 以下：SSF）では、スポーツの価値や意義を検証し、あるべきスポーツの未来について考える機会として、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々へのインタビュー記事「スポーツ歴史の検証」を連載しています。

次世代のスポーツ振興の架け橋をテーマに今回ご登場いただくのは、日本において体操競技・新体操の普及に尽力され、今年1月1日に国際体操連盟（FIG）会長に就任された渡辺守成さんです。

体操強豪国ブルガリアへの留学中、そこで出会った新体操に魅了され、帰国後は新体操クラブの普及や指導者の育成などに大いに貢献。FIG 会長就任にあたっては「体操をサッカー以上にメジャーにする」という大きな目標を掲げられました。選手を「支える」立場で力を発揮し、新たなスタート地点に立った渡辺さんに、日本のスポーツのこれからについてお話しいただきました。

笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』
第 56 回 変わらない「アスリートファースト」の精神
国際体操連盟(FIG)会長 渡辺守成 氏

スポーツ歴史の検証 で検索ください！


【U R L】 <http://www.ssf.or.jp/ssf/tabid/813/pdId/244/Default.aspx>

【主な内容】 IF 会長としての発言に含まれた日本への期待／担任のひと言で開花された運動神経／ひょんなことから始まった体操人生／日本とは異なった合理的な指導方法／ジャスコにあった継続的なスポーツ事業への理解／選手の支えとなるべき連盟の存在／選挙戦の勝因は「日本人の勤勉さ」／未だに見えない日本スポーツの在り方など

《プロフィール》

渡辺 守成（わたなべ もりなり）氏

1959年福岡県生まれ。大学時代の留学先ブルガリアで出会った新体操に魅了され、帰国後は、新体操の普及に取り組む。その成果が評価され、1997年日本体操協会理事に就任。2017年に国際体操連盟(FIG)の会長に欧州以外から初めて就任。

インタビューアー 山本 浩（やまもと ひろし）氏

1953年生まれ。スポーツ評論家。NHK 在職中はエグゼクティブアナウンサー、解説委員（スポーツ・体育分野専門）として活動。現在は法政大学スポーツ健康学部教授を務める。

<スポーツ歴史の検証> 概要

【企画制作】 公益財団法人笹川スポーツ財団

【後援】 スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】 株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先

笹川スポーツ財団 経営企画グループ：古坂（ふるさか）

TEL：03-5545-3301 info@ssf.or.jp